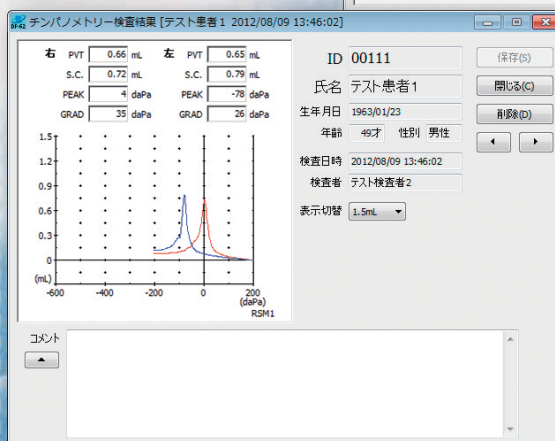
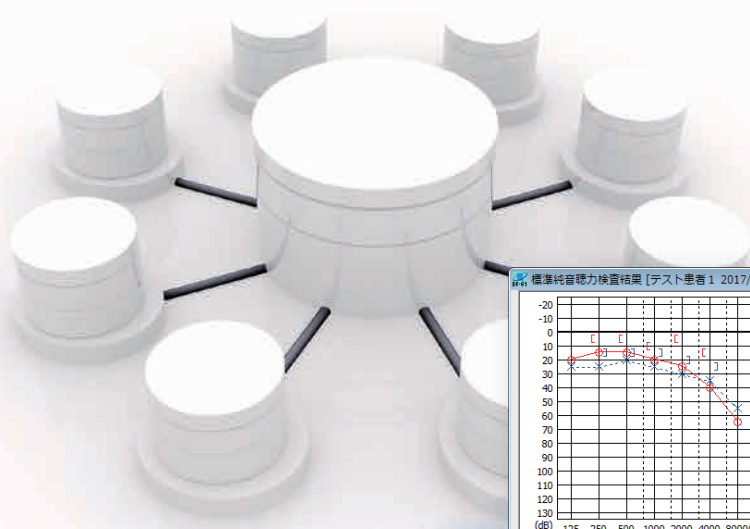




電子カルテ対応 データベースシステム DF-60シリーズ

本ソフトウェアは、当社検査機器の検査結果を
電子カルテシステムへ送信するソフトウェアです。



検査機器やカードリーダー
とRS-232-Cで接続

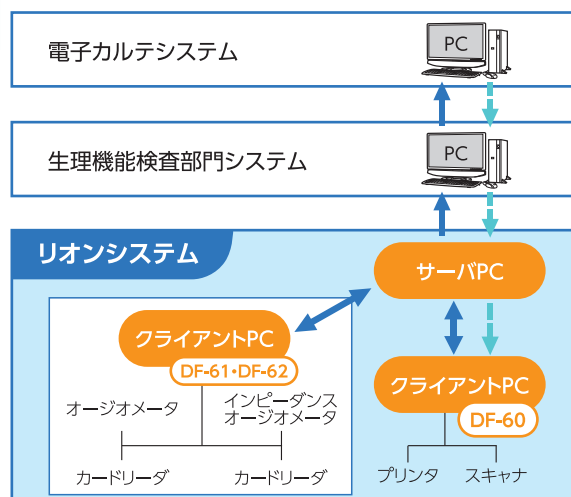
データの保存性を重視。
ハードディスクに
RAIDシステムを採用

検査結果は
JPEG、PNG、BMP形式
で画像出力

1. オータ連携を行う場合

リオンシステムは生理機能検査部門システムを経由して電子カルテシステムとオーダ連携をします。オーダ連携により、患者情報（ID、氏名、年齢など）と検査依頼情報を取得し、検査結果画像を送信することが可能となります。

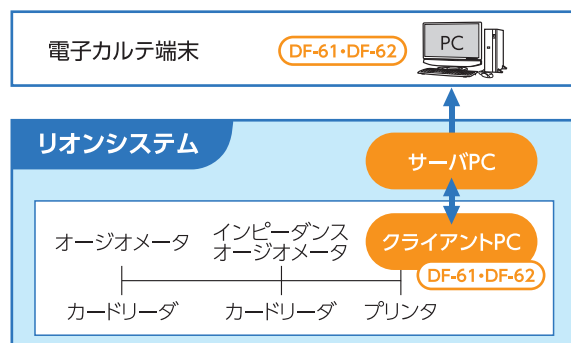
注) 生理機能検査部門システムのメーカー様により、接続形態が異なりますので、別途、お打ち合わせが必要となります。



2. 電子カルテ端末等にリオンシステムをインストールし、データベースを直接参照する場合

同一ネットワークにリオンシステムを同居することにより、特別な連携をとらず、データベースを直接参照できます。過去のデータに重ね書きをしたり、他のデータを検索したりすることが可能です。

注) 本方法は電子カルテネットワークに同居するため、上位システムの許可が必要となります。また、電子カルテネットワークの端末にリオンシステムをインストールした場合、検査結果は、コピー＆ペーストでデータを電子カルテへ貼り付けることができます。



3. 院内PACS/科内画像ファイリングシステムでデータ参照を行う場合

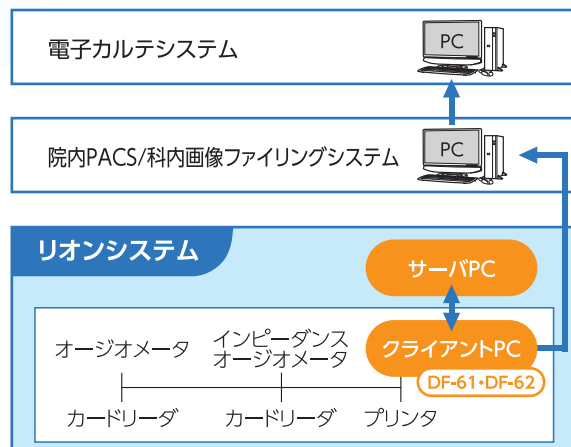
リオンシステムから院内PACSや科内画像ファイリングシステムへ聴力検査の結果画像を送信することが出来ます。

結果画像の出力フォーマットはPNG、JPEG、BMP等です。

電子カルテシステムとの連携は院内PACSや科内画像ファイリングシステムから行います。

検査データの蓄積、過去のデータ検索も行うことが出来ます。

注) 院内PACS/科内画像ファイリングシステムのシステムメーカー様により、接続形態が異なりますので、別途、お打ち合わせが必要となります。



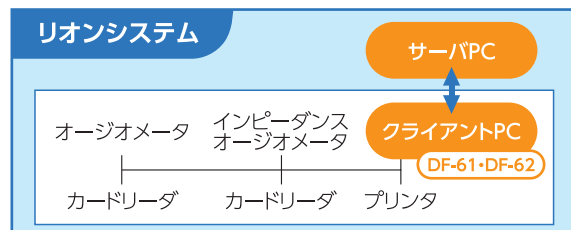
4. 電子カルテネットワークとは接続しない場合

将来の電子カルテ化に向けて、データを蓄積する場合に有効です。

将来、病院が電子カルテ化された場合でも、検査データを電子化して蓄積することで、過去のデータ検索などが容易にできます。

注) このシステムは純粋に検査データのみを管理するシステムで、電子カルテとリンクさせるためには別途ソフトウェア（別売）が必要となります。

*図は構成例ですので、導入にあたっては当社営業部へご相談ください。



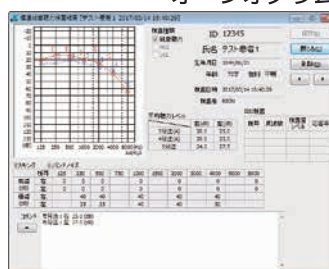
本ソフトは、リオン製のオーディオメータ等電子カルテ対応検査機器と接続されたコンピュータ上で、検査データを保存管理するソフトウェアです。検査機器から、検査データの取り込み、保存、参照、印刷が可能です。また、カードリーダーやバーコードリーダーを接続し、診察券などから患者情報を読み込むことも可能です。

DF-61 データベースソフト オーディオメータ

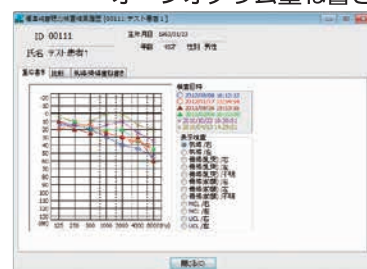
＜機能＞

- 標準純音聴力検査※：気骨導閾値、不快聴取レベル(UCL)、快適聴取レベル(MCL)
- 語音聴取閾値、語音弁別能 ■ 音場での聴力検査
- SISI：検耳、周波数、レベル、スコア、4周波数まで ■ ABLB
- TTS(左右別表記)
- 連続周波数自記(左右別表記)
- 固定周波数自記
- 幼児聴力検査(PLAY、COR)
- 耳鳴
- 遅延側音検査
- ロンバルテスト
- ステンゲルテスト

オーディオグラム



オーディオグラム重ね書き



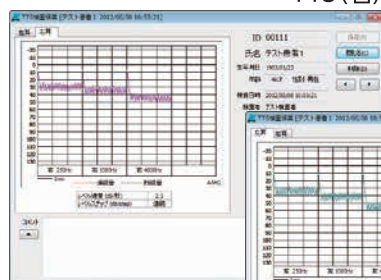
スピーチオーディオグラム



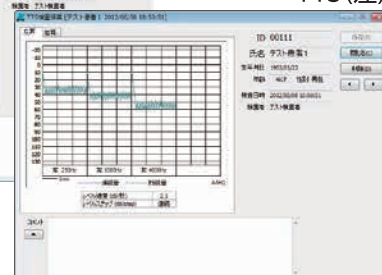
ABLB



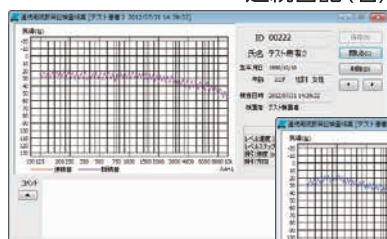
TTS(右)



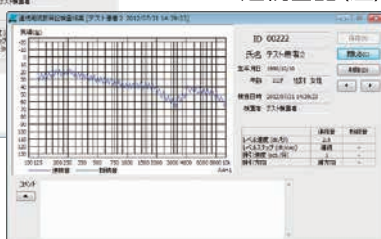
TTS(左)



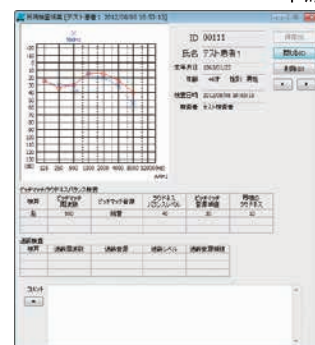
連続自記(右)



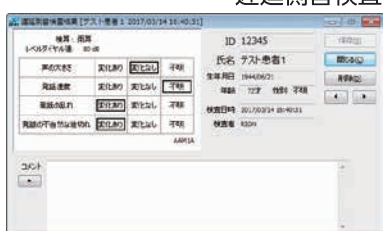
連続自記(左)



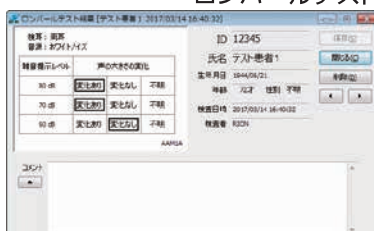
耳鳴



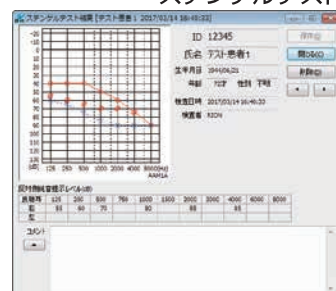
遅延側音検査



ロンバルテスト



ステンゲルテスト

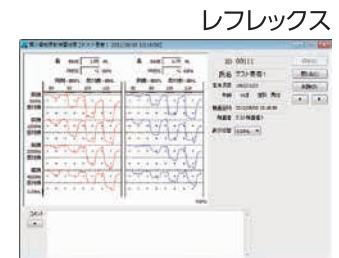
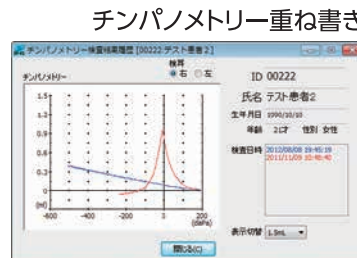


※標準純音聴力検査については、結果履歴表示(データの重ね書き)が可能です。【注意:最大8データ、左右別表記です】

DF-62 データベースソフト インピーダンスオーディオメータ

〈機能〉

- チンパノメトリー (226Hz/1000Hz)*1,2: 左右一画面表示、5パターンモード
- レフレックス検査*3: AUTO、MANUAL、ADD、DECAY、LATENCY

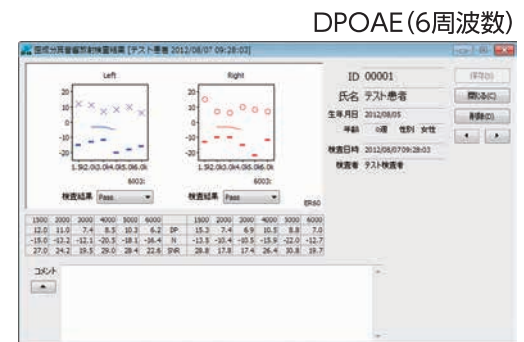
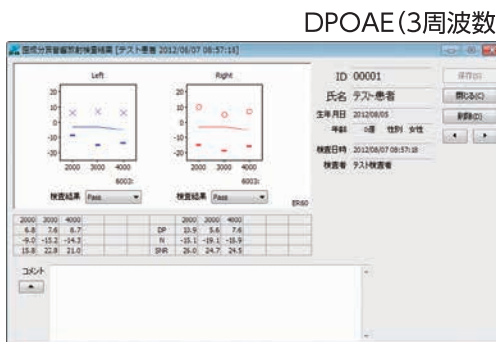


- ※1 チンパノメトリー (226Hz) 以外の検査モードについては、当該検査法搭載済で接続可能な機器に限り対応可能です。
 ※2 チンパノメトリー (226Hz/1000Hz) については、結果履歴表示(データの重ね書き)が可能です。【注意:最大10データ、左右別表記です】
 ※3 AUTO以外の検査モードについては、当該検査法搭載済で接続可能な機器に限り対応可能です。

DF-64 データベースソフト スクリーニングOAE

〈機能〉

- 歪成分耳音響放射(DPOAE)*: 左右一画面表示(3周波数/6周波数)

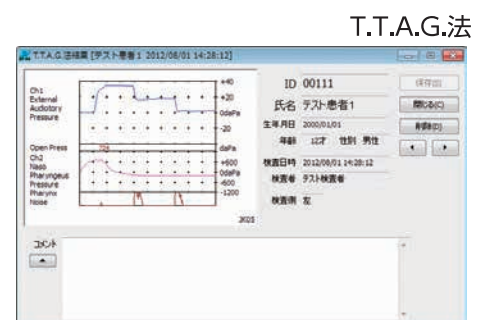
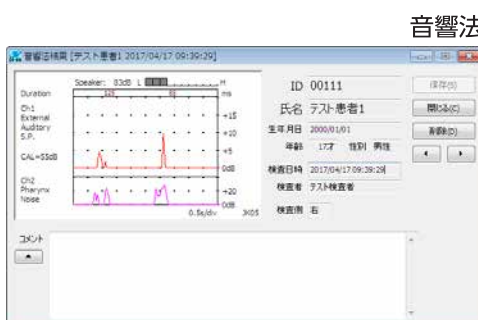


- ※3周波数/6周波数の設定は、検査機器側で行います。

DF-66 データベースソフト 耳管機能検査装置

〈機能〉

- 音響法
- インピーダンス法
- T.T.A.G.法*
- インフレーション/デフレーション法*



- ※T.T.A.G.法とインフレーション/デフレーション法については当該検査法搭載済で接続可能な機器に限り対応可能です。

DF-60 電子カルテ オーダリングソフト

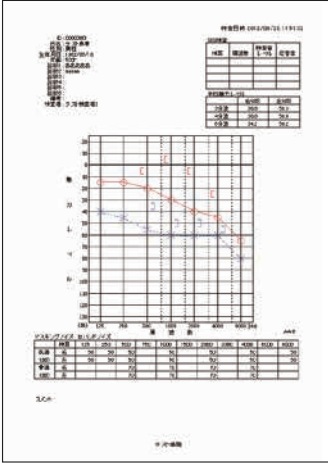
〈概要〉

上位システム(生理機能検査部門システム)とのオーダ連携、検査結果に関する履歴の管理(データベース化:DF-6Xシリーズ)により、検査時の作業効率の向上、被検者の待ち時間・負担の軽減、基幹施設としての機能強化を図ることが可能となります。

〈機能〉

- **オーダ受信:**
病院施設の基幹システムから発行されるオーダを受信する機能
- **患者情報自動登録:**
基幹システムから発行されるオーダから患者情報を抽出して、患者情報をデータベースに登録する機能
- **結果画像送信:**
当社データベースソフトのデータを上位システムへ送信する機能
(スキャナ画像も可能)
- **スキャナ取り込み:**
検査結果をスキャナから取り込む機能
取り込んだデータを参照画像として上位システムへ送信することが可能
- **オーダ受信、検査結果送信フォーマット(メーカー名の敬称略):**
日本光電→DIS Ver.2.00通信仕様書による
フクダ電子(フクダメディカルソリューション)→DF-60F通信仕様書による

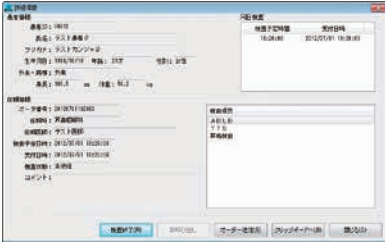
検査レポートの出力例



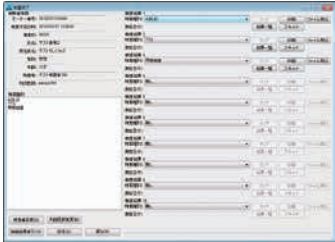
オーダ受信画面



オーダ詳細内容確認画面



結果送信画面



DF-81 電子カルテツール コピーソフト

〈機能〉

- **画像取込機能:**
画像を取り込み、加工して決められたフォルダに保存する機能
・対応する画像ファイル形式(読込／書込):
BMP、JPEG、PNG
- **クリップボード取込機能:**
クリップボードの画像を取り込み、加工して決められたフォルダに保存する機能
・対応する画像ファイル形式(書込):
BMP、JPEG、PNG
- **画像ファイル転送機能:**
画像ファイルを決められたフォルダに転送する機能

- **動作環境:**
以下のOSが搭載されたパソコンで動作します。

OS
Microsoft Windows® XP Professional
Microsoft Windows® Vista Business
Microsoft Windows® 7 Professional

参考

オーディオメータAA-H1を使用することで、患者情報、オーダの呼び出し等の確認がオーディオメータ画面上で可能となります。

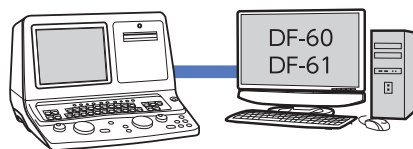
検査データを直接データベースに送信・登録が可能となり、専用クライアントPCの設置が不要となります。

*詳細につきましては、当社営業部へご相談ください。

構成例

オーディオメータ AA-H1

サーバ PC



電子カルテ対応データベースシステム DF-60シリーズ

仕様

パソコンについて

- パソコンは、リオンにて各種セットアップ済みをご用意しております。(設置場所などにより構成内容が変わる場合がありますので、お打ち合わせが必要となります。)
- 対応OSは、Windows®7 Pro、Windows®XP Proです。(※DF-81はこの他にも対応可能なOSがあります。)
- 検査機器(オーディオメータなど)やカードリーダーとの接続は、RS-232-Cとなります。
- データサーバとなるサーバパソコンと防音室内に設置可能なクライアントパソコンによる運用を推奨いたします。防音室内にパソコンを設置しない場合、サーバパソコンのみでの運用も可能です。

サーバパソコンについて

- 騒音レベルが大きいため、設置は防音室の外となります。
- 弊社標準品はデータの保存性を重視して、データハードディスクにRAIDシステムを採用しています。また、DVD-RAMによるバックアップシステムを搭載しております。
【RAID1(ミラーリング):同じデータを2台のハードディスクに常に記録するシステムです。(1台のハードディスクが壊れても、もう1台のハードディスクにも、同じデータが保存されているため、ハードディスクの故障などの障害に対して、信頼性が高くなります。)】

クライアントパソコンについて

- 弊社標準品は静音型ですので、防音室内に設置が可能です。

システムについて

- オーダリングソフト(DF-60)は、上位システムや設置状況等により価格が変わります。
- LAN回線は、100BASE-TX規格となります。
- カードリーダー、バーコードリーダーを接続すれば、患者カードに記載されたID情報の入力容易になり、入力業務の省力化に貢献できます。(内容により対応できないものもあります。)
- ネットワークの障害が発生した場合でも、検査結果の保存ができるようなシステムとなっています。(検査結果をリオンのシステムに保存し、障害復帰後、上位のHISシステムに検査結果を再送信することができます。)
- 検査結果の画像出力は、JPEG形式、PNG形式およびBMP形式となっています。(画像サイズは、PNG形式の場合1データが20kバイト程度です。)
- オンラインではない検査結果は、参照画像としてスキャナ取り込みも可能です。リオン製品以外の検査結果も取り込めます。(A4サイズまでとなります。)

＜注意＞ 導入にあたっては、システム管理部門および電子カルテメーカーなどとお打ち合わせが必要です。
導入内容によってはソフトウェアの変更等が必要となります。
詳細につきましては、当社営業部へご相談ください。

*Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
*本仕様は改良のためお断りなく変更することがあります。



<http://www.rion.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談は・・・

本社・営業部	〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41 TEL:042-359-7880 FAX:042-359-7441
東京営業所	〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8(ユニゾ本郷二丁目ビル) TEL:03-3818-4133 FAX:03-3818-4140
仙台営業所	〒982-0015 仙台市太白区南大野田25-13 TEL:022-249-5533 FAX:022-249-5535
西日本営業所	〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-5(横山ビル) TEL:06-6363-4133 FAX:06-4797-0111
関東リオン(株)	〒330-0062 さいたま市浦和区仲町3-11-2 TEL:048-824-1205 FAX:048-824-8885
東海リオン(株)	〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-9(スカイオアシス栄ビル) TEL:052-954-1733 FAX:052-954-1734
九州リオン(株)	〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5-18 TEL:092-281-5361 FAX:092-291-2847